





※分析対象者: 20-30代 BP職社員 約870名

※分析方法:2024年スキルサーベイの回答結果をもとに、因果探索分析を実施。





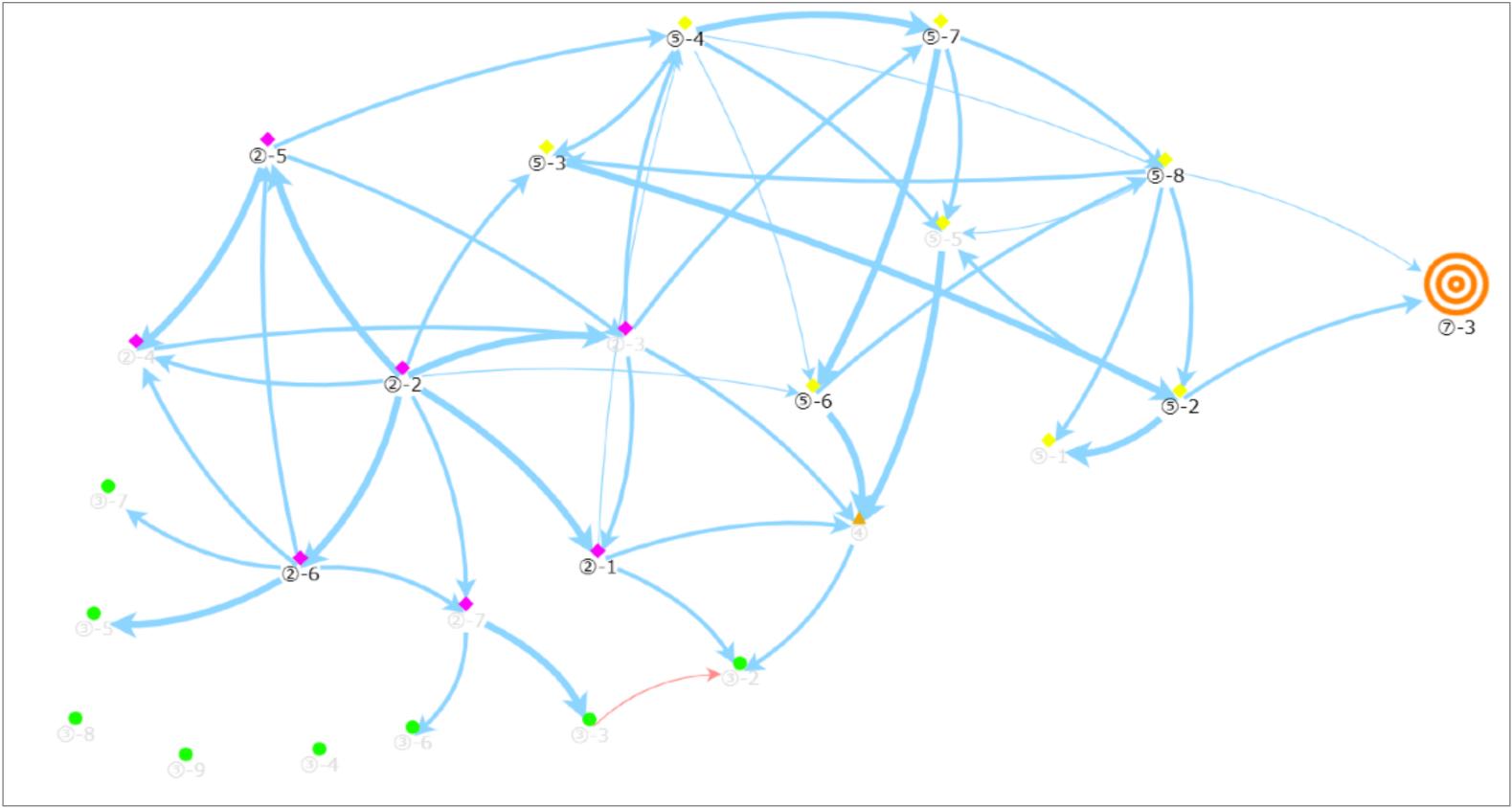


「成長実感」を 目的変数とした 因果構造の可視化

「成長実感」につながる因果は、大きくは「業務経験→スキル自認→マインド・姿勢→成長実感」という構造。 20-30代のBP職において、成長実感への因果構造のハブになっているビジネス力は「環境把握力」と「関係構築力」。 また、マインドでは、「仕事を意味づけ楽しむ姿勢」と「振り返って学ぶ姿勢」の影響度が大きい。







多様な人が考えをぶつ け合える創造的なチー ムづくりをしている

常にビジネスパート ナーの想いを一緒に叶 えようとする

新しい領域にチャレン ジし続けている

業務経験を振り返って学び や教訓を引き出している

固定概念にとらわれず、 企画を見直す

状況が変化した場合には、 柔軟に方向転換する

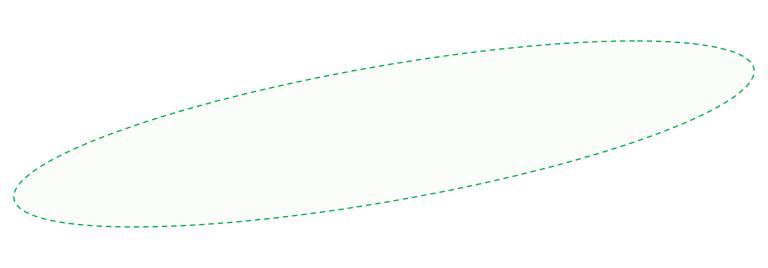
未知の仕事でも失敗 を恐れずにやってみる

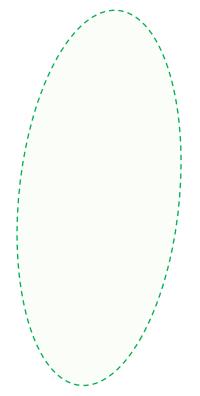
どんな仕事でも楽しむよ うに心掛けている



マインド・姿勢

BP職の ビジネスカ

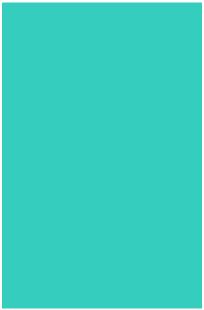






・関係構築がうまく、得意先事業や自社のソリューションなどを把握する力が高いと、課題設定力や提案力が高まる。

・環境把握力によって、得意先の想いをともに叶えようとする「パートナー主義」が強化され、仕事を楽しむ姿勢や振り返って学ぶ姿勢にもつながっていく。





どんな仕事でも、自分なりにポジティブに取り組

める意味を見出して、楽しむように心掛けている



し、未来の業務でその学びを活かし改善を図って いる

自ら業務経験を振り返って学びや教訓を引き出

多様な人が考えをぶつけあい、新しい考えや取り組

みを創造できるようなチームをつくり、仕事をして

いる

常に(ビジネス)パートナーの隣に立ち、一緒 に叶えたい想いを実現するようにしている



最適解であると考え実行したものでも、状況が 変化したり、違うと感じた場合には、柔軟に方 向転換をしている

関係構築力

















して





尊敬する先輩をGeminiで再現して 壁打ちしている

得意先との関係づくりがうまく、特に準備しないで打合 せに行って、論理的には出てこないアイディアを臆せず話 し、話をまとめてしまうすごい先輩がいる。自分は論理 的に考えてしまうが、そのアプローチは頭打ち感がある と感じている。先輩の発言の文字起こしをGeminiに食わ せて、企画を考えるときに、先輩ならどう言うか壁打ち している。

関係性を作る力の大切さを実感した

二配の得意先の業務では、博報堂が複数のエージェンシーをま とめてIMCをリードする役割が求められる。

チームリーダーの先輩は、多くの関係者にモチベーション高く動いてもらう言い方や、長期的なチームビルディングがうまい。自分は合理的な正しさで押すタイプだったけれど、関係構築や人間力の大切さを目の当たりにして、身につけていきたいと思うようになった。

理不尽な指摘メールを笑い飛ばして、 応援してくれた

得意先から長文の理不尽な指摘メールが送られてきたとき、先輩たちに見せたら、「あるある!」「(冗談で)読み飛ばしていいよ」と笑って、返信の仕方や次にどう生かすかを教えてくれた。自分一人で重く受け止めすぎないで済み、乗り越えることができた。

「お前、ダサいね」の一言が、 自分のやる気スイッチを押してくれた

かつての自分は、仕事は人生の一部、効率的にやればいいと、 どこか斜に構えていた。そんな自分に、イケイケの部長が一言 「お前、ダサいね」。衝撃を受けたが、なるほど!と心底思っ た。ドライな姿勢でいては楽しくないと内心もどかしかった自 分のやる気スイッチを押してくれた。

その一言をきっかけに、「他の人がやれていないことをやるのがかっこいい」と、競合や案件開拓に高いモチベーションでまい進できるようになった。

異動後も初配時代の先輩から アドバイスをもらっている

初配時代の先輩には、異動後も話を聞いてもらうことがある。 乱れた感情やメンタルの立て直し方でアドバイスをもらったり する。二配の部署で後輩の指導に悩んで相談したときは、「後 輩もあなたのこと変だって思っているよ」と言って、マネージ メント1年生みたいな本を教えてくれた。自分の"普通"と後輩 の"普通"は違うんだと思えるようになり、悩みが軽くなった。

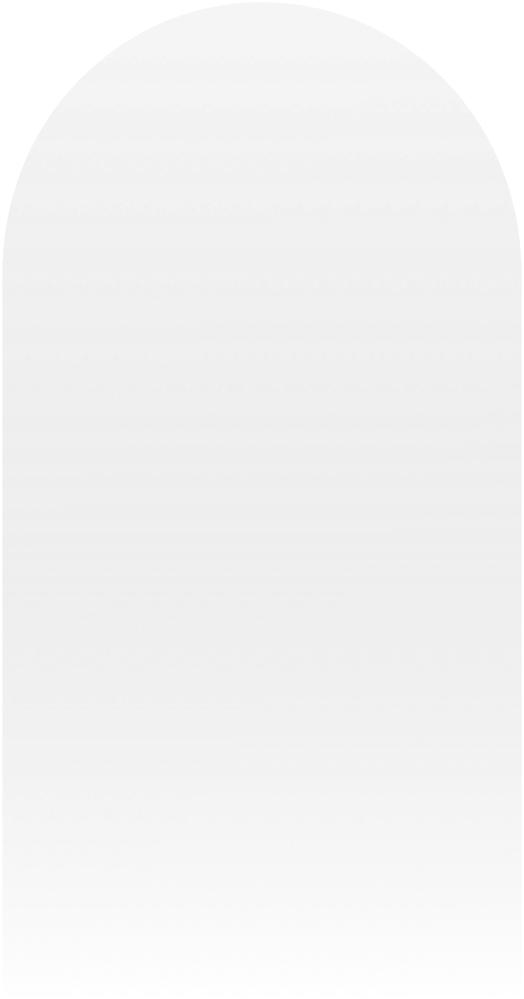
新しい企画を提案していく姿勢や 行動を後押ししてくれた

初配のMPの部署では、ルーティーンの仕事とは別に、向き合いの媒体社の市況をよくするための新しい企画を考え、自ら仕掛けていくことが求められた。

メンバーがやりたいアイディアを持ち寄る場があり、現業の 立場を超えて自由に動くことを上長は許容してくれた。 とても楽しかったし、仕事において自分がいる意味や介在す る価値を常に意識するきっかけになった。







※分析対象者: 20-30代 BP職社員 約870名

※分析方法:2024年スキルサーベイの回答結果をもとに、因果探索分析を実施。

























'的変数 _____

'

また、マインドでは、「仕事を意味づけ楽しむ姿勢」と「振り返って学ぶ姿勢」の影響度が大きい。

20-30代のBP職において、成長実感への因果構造のハブになっているビジネス力は「環境把握力」と「関係構築力」。

「成長実感」につながる因果は、大きくは「業務経験→スキル自認→マインド・姿勢→成長実感」という構造。

_



_

多様な人が考えをぶつ

け合える創造的なチー

ムづくりをしている

ナーの想いを一緒に叶

常にビジネスパート

ジし続けている

新しい領域にチャレン

や教訓を引き出している

業務経験を振り返って学び

固定概念にとらわれず、

柔軟に方向転換する

状況が変化した場合には、

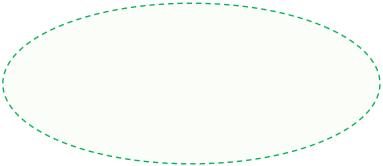
未知の仕事でも失敗

を恐れずにやってみる

どんな仕事でも楽しむよ

うに心掛けている













める意味を見出して、楽しむように心掛けている

どんな仕事でも、自分なりにポジティブに取り組



し、未来の業務でその学びを活かし改善を図って

自ら業務経験を振り返って学びや教訓を引き出



多様な人が考えをぶつけあい、新しい考えや取り組

みを創造できるようなチームをつくり、仕事をして



常に(ビジネス)パートナーの隣に立ち、一緒

に叶えたい想いを実現するようにしている



変化したり、違うと感じた場合には、柔軟に方

最適解であると考え実行したものでも、状況が

向転換をしている



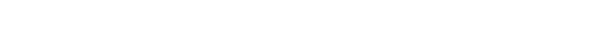










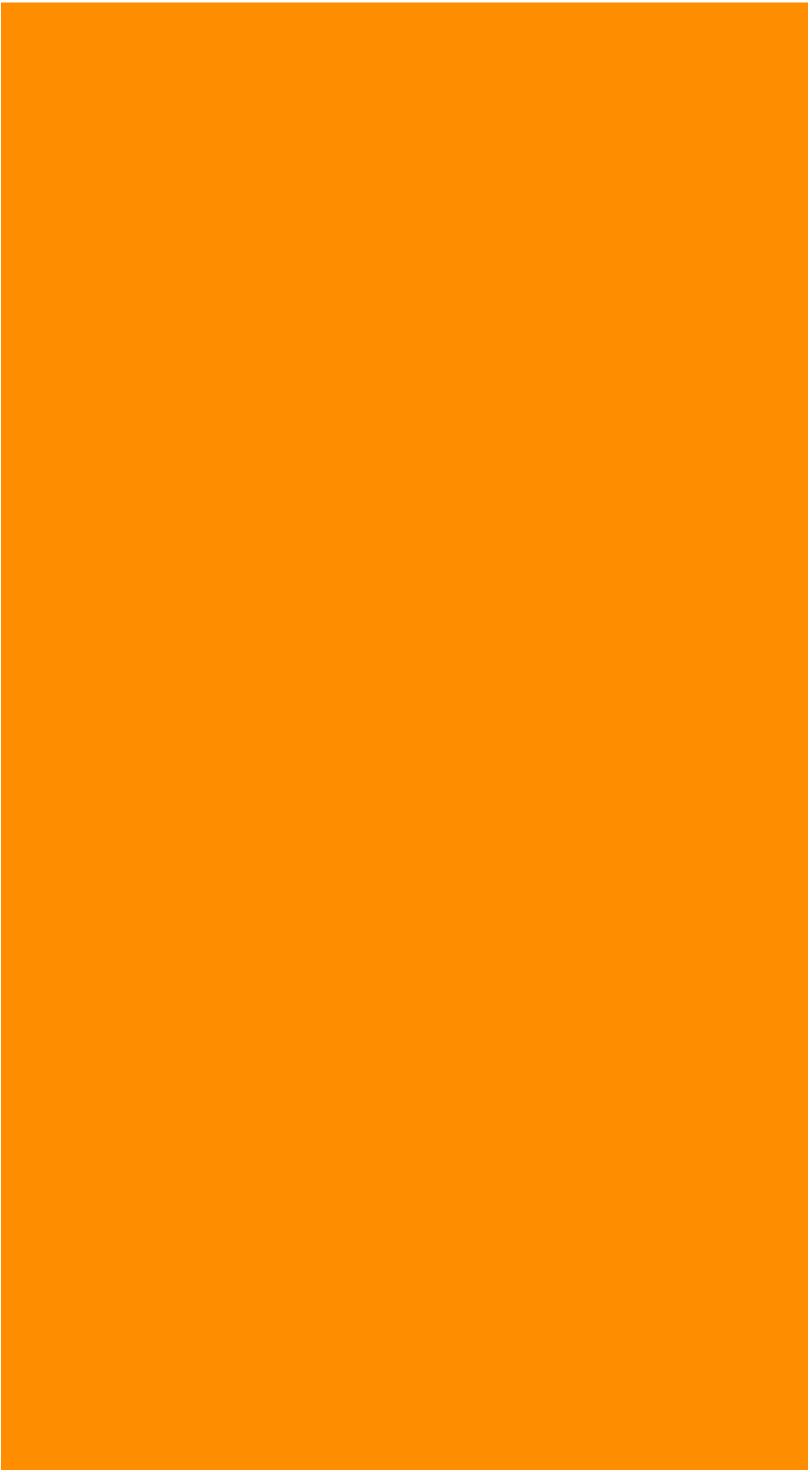




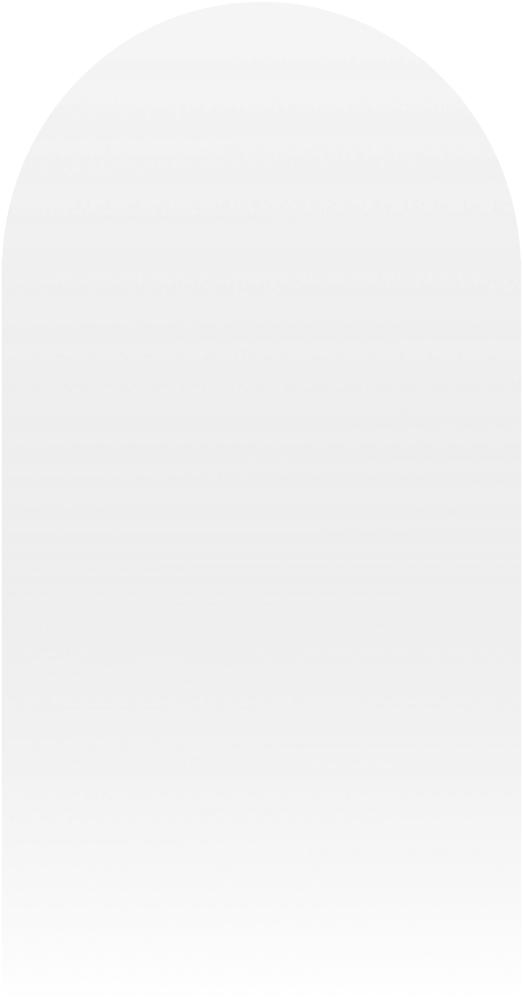








	나이의 아이들은 얼마가려웠				
그 그 사람이 가는 생명이 나는 이 얼마나면 보고 나를 보고 있었다. 그 사람들이 하는 사람들이 되었다면 하는 것이다. 그 사람들이 살아보고 있다면 하는데 하는데 그렇게 되었다.					



























尊敬する先輩をGeminiで再現して 壁打ちしている

得意先との関係づくりがうまく、特に準備しないで打合 せに行って、論理的には出てこないアイディアを臆せず話 し、話をまとめてしまうすごい先輩がいる。自分は論理 的に考えてしまうが、そのアプローチは頭打ち感がある と感じている。先輩の発言の文字起こしをGeminiに食わ せて、企画を考えるときに、先輩ならどう言うか壁打ち している。

関係性を作る力の大切さを実感した

二配の得意先の業務では、博報堂が複数のエージェンシーをま とめてIMCをリードする役割が求められる。

チームリーダーの先輩は、多くの関係者にモチベーション高く動いてもらう言い方や、長期的なチームビルディングがうまい。自分は合理的な正しさで押すタイプだったけれど、関係構築や人間力の大切さを目の当たりにして、身につけていきたいと思うようになった。

理不尽な指摘メールを笑い飛ばして、 応援してくれた

得意先から長文の理不尽な指摘メールが送られてきたとき、先輩たちに見せたら、「あるある!」「(冗談で)読み飛ばしていいよ」と笑って、返信の仕方や次にどう生かすかを教えてくれた。自分一人で重く受け止めすぎないで済み、乗り越えることができた。

「お前、ダサいね」の一言が、 自分のやる気スイッチを押してくれた

かつての自分は、仕事は人生の一部、効率的にやればいいと、 どこか斜に構えていた。そんな自分に、イケイケの部長が一言 「お前、ダサいね」。衝撃を受けたが、なるほど!と心底思っ た。ドライな姿勢でいては楽しくないと内心もどかしかった自 分のやる気スイッチを押してくれた。

その一言をきっかけに、「他の人がやれていないことをやるのがかっこいい」と、競合や案件開拓に高いモチベーションでまい進できるようになった。

異動後も初配時代の先輩から アドバイスをもらっている

初配時代の先輩には、異動後も話を聞いてもらうことがある。 乱れた感情やメンタルの立て直し方でアドバイスをもらったり する。二配の部署で後輩の指導に悩んで相談したときは、「後 輩もあなたのこと変だって思っているよ」と言って、マネージ メント1年生みたいな本を教えてくれた。自分の"普通"と後輩 の"普通"は違うんだと思えるようになり、悩みが軽くなった。

新しい企画を提案していく姿勢や 行動を後押ししてくれた

初配のMPの部署では、ルーティーンの仕事とは別に、向き合いの媒体社の市況をよくするための新しい企画を考え、自ら仕掛けていくことが求められた。

メンバーがやりたいアイディアを持ち寄る場があり、現業の立場を超えて自由に動くことを上長は許容してくれた。 とても楽しかったし、仕事において自分がいる意味や介在する価値を常に意識するきっかけになった。